

## アイデア提案書

提案番号	No.19-01		
提出年月日	平成31年 3月18日	受付年月日	平成31年 3月18日
所属		職名・氏名	( <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 代表者)
提案件名	職員の持つ人脈のデータベース化とその共有		
提案の要件	<input type="checkbox"/> 市民サービスの向上に役立つもの <input checked="" type="checkbox"/> 事務能率が向上するもの <input type="checkbox"/> 経費の節減・収入の増加に資するもの <input checked="" type="checkbox"/> 行政事務運営の革新となるもの <input type="checkbox"/> 本市のイメージアップに係るもの <input type="checkbox"/> その他公益上有効であるもの		
関係部署	全部署		
現状及び問題点	<p>社会構造の変化と生活様式の多様化によって本市でもさまざまな分野で複雑かつ難解な課題が生じている。その多くは行政主導による解決が期待されているが、大きな負担を伴う人材確保や業務委託などは非現実的ある。このため、これらの課題解決には、内部、外部の優秀な人材を巻き込んだネットワークづくりと、庁内だけの個人や少人数で複雑な課題を抱え込むことのない、健全で全庁的なバックアップの仕組みづくりが必要と考える。</p>		
提案の内容	<p>仕事を通じて関わった職員や附属機関の委員、地域の役員などの人たちのうち、「自分がつなぐことのできる人脈」をファイルサーバー上に作成したデータベースに職員が登録する。集まったデータを「人物」で名寄せすると、その人に関わりのある職員の一覧が見え、また「ジャンル」で名寄せすると、今の仕事に関係している、協力やアドバイスがもらえるかもしれない外部人材が一覧で見えると同時に、仲介可能な職員が瞬時に把握できる。この仕組みを利用して自分に新しい人脈ができたなら、データベースにさらにそれを追加する。このようにして、今まで見えなかった個々の職人の持つネットワークを「見える化」して積み上げることで、困難な課題にぶち当たっても相談先の選択肢が増える、あるいはチームで対応できる環境が整っていく。</p>		
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃顔を合わせることの少ない職員同士のコミュニケーションの活性化が期待できるとともに、それぞれの職員の外部ネットワークが広がる。</li> <li>・所属を横断するプロジェクトチームやワーキンググループを編成する際、候補メンバーの抽出に活用できる。</li> <li>・面識のない外部人材にもコンタクトが取りやすくなるため、附属機関の委員等候補のバラエティが広がり、新陳代謝の促進が期待できる。</li> </ul>		
担当課意見	<p>人脈を活用し、それが業務をする上で効率化につながることは、非常に好ましいことだと考えます。また、それを活用しようとする趣旨には賛同します。</p> <p>実際の運用を考えると、実際どの程度の知り合いであれば登録をするのかの</p>		

基準の設定や、登録された人の肩書きなどを常に最新の状態に更新する仕組みなどどのように管理するのには、検討の余地があると思います。

また、登録はしたものの、案件等によっては、紹介できないあるいはしたくないようなこともあろうかと思えます。そのような場合に、紹介してもらえなかったことでのその後の不利益につながらない仕組みも必要になると思えます。

うまく活用すれば、人脈は非常に有用であるので、これらが適切に機能する仕組みができれば良いと考えます。

提案事項審査報告書  
(アイデア提案用)

提案番号 No.19-01	所属	職名	氏名
------------------	----	----	----

提案件名 職員の持つ人脈のデータベース化とその共有
------------------------------

問題意識	創造性	有効性	効率性	費用対効果	具体性	実現性	合計 (総合評定)
3.3点	2.8点	2.3点	2.6点	2.5点	2.4点	2.3点	18.2点

優秀賞に至らず

【意見】

- ・職員各自で構築できる人的関係には限りがあり、他の職員のネットワークを活用できるような態勢を構築することができれば、業務の効率化がはかれる面もあるかと思えます。もっとも、データベースが効果を発揮する場面としては、求める人物が特定されている場合であることが想定されます。
- ・他に、人材を探索する場面としては、「こういうことに詳しい人」という場面も想定されますが、ジャンルでの探索は結局関係のありそうな各課の職員に尋ねることでは足りないのではないかと考えられます。
- ・データベースを作っても、データベースが役立つ場面は限定的になるのではないのでしょうか。
- ・また、データベースの登録に当たっても、自分が頼む分には遠慮なく頼めても、人に紹介することまでは躊躇するような場合など、データベースとして職員全体に公開できるような人物となると、非常に限定されることも考えられます（個人的には、おそらく個別に聞いてもらえたら紹介できる人でも、データベースへの公開には協力できないと思えます）。
- ・個々人が持つ人脈は、その人に限定されるような気がしますので、他の人がデータベースを活用するのは難しいのではないかと思います。
- ・部署によって活用機会の差はあると思いますが、PT、WG、各種委員などに関連のある部署にとっては、あれば便利な仕組みだと思います。現状では、データを管理する仕組みが構築できていないため、現実的ではないと思いますが、引き続き研究をしても良いと思います。
- ・人脈に係る情報は知りたいことではあるが、活用できずに効果が出ないように思われる。
- ・今ある既存の名簿等を駆使して、自分で人脈を築いていった方が良いと思う。データベース管理の方が難しい。
- ・思いとしては理解できるが、ルール作り、システム作り、運用、管理方法について相応の検討が必要と思われます。
- ・これが実現できれば活用したいと思う反面、今の提案通りでは難しいなとも思いました。人脈は、目に見えないもののつながりなので、人の気持ちを逆なです、みんなが提供・利用しやすい仕組みをもう少し考える必要があるのではと感じました。
- ・あれば、おもしろいと思うが、実際に使うかどうか。管理の手間も考えると実用的ではない。むしろ、リスト化せず、必要な都度、メール等で照会する程度でも代替可能ではないか。